

事務事業評価表 平成23年度

政策 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

施策 子育て環境の充実

基本事業 地域子育て支援の充実

事業名 **子育て支援センター管理運営経費**

[5082]

部名	健康福祉部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	子育て支援室保育課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>子育て支援センター「すくすく」</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>施設の維持管理を適切に行う</p>
手段	
<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>子育ての不安等を相談する場や保護者同士及び児童の交流の場としての子育て支援をする。</p>	

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標2						
活動指標1	開設日数	日	246	248	249	248
活動指標2	子育て支援事業開催件数	件	308	321	309	321
成果指標1	年間利用者数	人	9,909	8,721	9,243	9,704
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	3,627	3,520	3,119	3,581
正職員人件費 (B)		千円	2,090	2,075	2,015	2,037
総事業費 (A) + (B)		千円	5,717	5,595	5,134	5,618

費用内訳	
22年度	報酬 562千円、旅費 98千円、需用費 924千円、役務費 117千円、委託料 1,224千円、使用料及び賃借料 84千円、備品購入費 89千円、負担金 補助及び交付金 21千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	子育てに対する環境の変化・社会の変化に伴い、子育ての不安等を相談する場や保護者同士及び児童の交流の場等の子育て支援に対するニーズが高まっている。
--------	--	-------------	--

22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業

妥当である

妥当性が低い

理由・
根拠は？

子育て支援の充実を図るうえで、市民に対して情報の発信や交流の場、学習機会の提供は必要不可欠であり、その拠点となる施設として「江別市子育て支援センター条例」に基づき設置している施設の運営管理事業であり、義務的な事務事業である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい

貢献度ふつう

貢献度小さい

基礎的事務事業

理由・
根拠は？

上位の基本目標の達成においては、子育て支援の拠点となる施設が安全で安心して活動できることが不可欠であり、施設の管理運営事業は基礎的な事務事業である。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

あがっている

どちらかといえばあがっている

あがらない

理由・
根拠は？

施設の管理運営事業により、施設の適切な維持管理が図られており、各地域に民間支援センターが開設されてことから、利用者は減少したものの子育て支援に係る中核施設としての役割は大きい。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大

成果向上余地 中

成果向上余地 小 なし

理由・
根拠は？

民間支援センターとの連携を強化するとともに、新たな事業の展開や連携事業の実施、広報活動の充実等により成果向上の可能性はある。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算 + 所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある

ない

理由・
根拠は？

施設の管理運営に係る基礎的な事務事業であり、コスト削減は利用者サービスの低下に繋がることから困難であり、今後は施設の経年劣化による経費が増えてくると予想される。